

# 人口増・財政健全化に向けて

## 穏やかな年を願う

### 新年のご挨拶



石川彰宏議長

市民の皆さまにおかれましては、平成27年の輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。市議会を代表し、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年、本市においては台風11号・12号の影響で、今まで経験したことがないような記録的豪雨に見舞われ、さまざまな災害が起こり

ました。全市に避難勧告も出されましたが、人的被害がなかったのは幸いでした。

しかし、長雨により水稲・野菜など出荷している農家は、品質の低下などで大打撃を被りました。

国内においては、御嶽山の噴火、異常気象がもたらす全国的な大雨、特に広島県の土石流による人的被害、また年度末には東北・北海道での大雪による被害など、自然災害が多発した年でありました。

国民生活においては、アベノミクス効果を地方では実感することなく厳しい年末を迎えることとなりました。本年は、アベノミクス効

果が地方にも波及し、穏やかな年であってもraithたいものです。

本市は3月1日で合併して9年が経過します。合併当初は3万人超の人口が、現在では2万8千人を切り、少子高齢化と過疎化が進み人口減少に歯止めがかかりません。そのため議会としてもこれを重要課題と捉え、定住人口増加促進特別委員会を設置し、課題解決に取り組み、同時に行政改革推進特別委員会において財政健全化のため調査研究にも取り組んでいます。

昨年は議会改選があり、11月の議会報告会を行うことができましたが、今年も実施します。多くの参加をいただき、ご意見を市政発展に活かして

まいります。また、開かれた議会を目指し、住民の皆さまに少しでも身近に感じてもらえる議会にしたいと思っております。本年も市政並びに市議会に対し、ご指導を賜りますようお願い申し上げます、市民の皆さまにとりて幸多き年でありますことをご祈念し、

新年のご挨拶と致します。



庁舎から見た街並み